

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 3 月 4 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング7階

評価機関名 株式会社プレパレーション

認証評価機関番号 機構 20 — 253
電話番号 03-6427-7451
代表者氏名 岡 知己 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	保坂勇太	経営	H2101075
	②	中野敬介	福祉	H2001064
	③	山口奈巳	福祉	H2101074
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	マミー吉祥寺保育園			
事業所連絡先	〒	180-0002		
	所在地	東京都武蔵野市吉祥寺東町3-1-2		
	Tel	0422-27-5541		
事業所代表者氏名	山崎絹代			
契約日	2023 年 9 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 10 月 27 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 12 月 15 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 10 月 27 日			
自己評価結果報告日	2023 年 12 月 15 日			
訪問調査日	2023 年 12 月 19 日			
評価合議日	2024 年 3 月 4 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	保育園を現在利用している全世帯の保護者を対象とした利用者調査をおこないました。園から利用者調査案内を配布し、WEBにて回答してもらう形式にしました。きょうだいで利用している場合は、年齢が低い方の利用者について回答をしてもらいました。職員へのアンケートは紙面にておこない、鍵付きBOXへ提出してもらったのち、本評価機関に郵送にて回収しました。訪問調査当日は、施設内の見学をしたあと、経営層に質問しながら、事故簿やヒヤリハット等の書類の閲覧をして状況把握に努めました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

☒ 機構が定める部分を公表することに同意します。
☐ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
☐ 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名 印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 1) こどもや職員の主体性を尊重する 2) こどもが、精神的・心理的・社会的に自立することを目指し、自己肯定感を培う 3) 地域社会、保護者との連携のもとで、家庭養育の補完を行う
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 ・こどもの人権の尊重を優先し、こどもや保護者に温かいまなざしが向けられること ・常にこどもや保護者、同僚から学ぶ姿勢を持ち、自分自身を振り返り、次へ繋げられる向上心を持っていること ・感謝の気持ちを忘れず思いやりの気持ちをもつことができる人 （2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） ・柔軟な発想を持ち、状況に応じた適切な判断ができること。保育に対する責任感と向上心を持ち、主体的に考え行動するとともに、相手の気持ちを思いやり協力しながら明るい笑顔で働いてほしい。 ・こどもの命を預かっている意識を忘れず、その命を必ず登園した時のままの心と身体で保護者にお返しすることを分かってもらう。 ・人間形成の大事な時期に関わっているという使命感。

調査対象

本園35世帯(利用者43名)を調査対象とし、17世帯より回答を得た。1世帯1回答とし、複数のこどもが利用している場合は年齢の低い方のこどもを対象に回答。

調査方法

アンケート方式
ID・パスワードを記載したWEB用アンケート案内文を園から全世帯に配布し、WEBにて回答してもらう方法で実施。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

43
35
35
17
48.6

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が58.8%、「満足」は29.4%、「どちらともいえない」が11.8%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて88.2%と大変高い評価を得ています。自由記述では、「アットホームで温かい雰囲気のある園にこどもを預けることができありがたく思っています。」「温かく迎え入れいただき、安心して過ごさせています。少ない人数ならではのアットホーム感があり、担任ではない先生もこどものことを認知していて、細かいところまで目を配ってくださっています。」「こどもの成長を日々感じられるのは先生方が日頃の様子をしっかり見て、伝えていただいているおかげです。仕事に集中できるのも保育園に安心して預けられるからだとても感謝しています。」「こどものやりたい遊びを率先して取り入れてくれて嬉しうです。保育園の先生方のおかげで、大好きな仕事ができっています。本当に言葉では伝えられないぐらい感謝の気持ちでいっぱいです。」といった感謝の言葉が多数寄せられています。そのほか、保護者参加行事の充実、連絡帳やおたよりのICT化、外遊びや室内遊びの充実、運動会や発表会の園外での開催を望む意見がありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	16	1	0	0
この項目では「はい」の回答が94.1%、「どちらともいえない」は5.9%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「公園や園庭での活動がとても楽しそうだと思います。」「保育園のおかげでできるようになったことがたくさんで働く身としてはとても感謝しています。」「子どもが発する言葉遣いが丁寧で、担当されている保育園の先生方のお話の仕方や接し方に感謝しています。」「夕方外遊びに連れて行っていただいたり、ありがたいです。」というコメントがありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	16	1	0	0
この項目では「はい」の回答が94.1%、「どちらともいえない」は5.9%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「絵本など大好きになりました。」「毎日楽しく保育園に通ってくれています。『今日何したよ、誰々と遊んだよ』、と楽しそうにお話してくれます。」「園で読んでもらった絵本を覚えていたり、教えてもらった歌を家でも歌ったりして楽しんでいる様子を感じられます。送迎の際も楽しく活動している様子が見られて安心してます。」というコメントがありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	16	1	0	0
この項目では「はい」の回答が94.1%、「どちらともいえない」は5.9%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「家での食事だけだとどうしても献立が偏ってしまうので、色々な献立をバランスよく作ってくださってとても頼りにしています。」「離乳食の頃から大きさや量・固さに気をつけていただいていると感じます。玄関にサンプルを置いていただいているので、帰りに実物を見ることができて、親子の会話の種にもなります。」というコメントがありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	14	2	1	0
この項目では「はい」の回答が82.3%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が5.9%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「天気の良い日はほとんど毎日お散歩に連れて行っていただいております。石や木の実を拾ったり探索したり、楽しんでい様子連絡帳で教えていただいております。行事も毎月のお誕生日会や季節ごとのイベントも楽しめるものと考えていただいております。」というコメントがありました。そのほか、運動会は園内ではなく小学校などでやってほしい、といった声が寄せられています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	10	2	0	5
この項目では「はい」の回答が58.7%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は29.5%という結果となりました。自由記述では、「いつも本当にお世話になっています。」「出来る限り利用時間通りに送迎していますが、急な延長保育の依頼には必ず応じていただいております。残っている子どもが1人、2人であっても寂しくないよう寄り添ってくださっています。」「延長になる場合、柔軟に対応いただいております。」というコメントがありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	13	4	0	0
この項目では「はい」の回答が76.4%、「どちらともいえない」は23.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「門やフェンス等、園舎の外側はしっかりと施錠出来るようになっており、破損箇所もありません。園舎内の階段もゲートがあり、園児が上り下りする際には先生方がしっかり付いてくださっています。保育室内も危ないと感じたことはありません。」というコメントがありました。そのほか、自転車置き場にスロープがあると良い、園内の階段の柵を直してほしい、といった声が寄せられています。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	17	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「年間スケジュールや、事前の園だよりなどでの通知で把握しています。」「保護者が参加する行事は土曜日にしていただいているので、多くの保護者の方が参加できていると思います。」というコメントがありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	15	2	0	0
この項目では「はい」の回答が88.2%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「朝や帰りに声をかけていただいたり、連絡帳で気になることなどお伝えしたり、信頼関係を築けています。」「先生方が親身に相談に乗ってくれて、ご飯のメニューやトイレトレーニングなどより良い方法を見つけことができます。」「イヤイヤ期で悩んでいた時に相談にのっていただけて心強かったです。」というコメントがありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	15	2	0	0
この項目では「はい」の回答が88.2%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「きれいにされていて、参考になります。先生方がお掃除をされている姿もよく見かけます。」「物が散らかったり汚れが放置されていることはありません。玄関付近を中心に廊下には砂がある時もありますが、活動内容を考えれば当然だと思いますし不快に感じたことはありません。」といったコメントがありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	15	2	0	0
この項目では「はい」の回答が88.2%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「怒るときも感情的にならずに冷静に対応されていると思います。」「いつも子どもたちや保護者に対して優しく笑顔で接してくださっています。対応で嫌な思いをしたことは一度もありません。服装も動きやすいもの＋エプロンで全く問題ないと思います。」というコメントがありました。そのほか、一部の職員が気になる、といった声が寄せられています。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	17	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「怪我をした時はすぐに対応してくれ、病院に連れて行ってくれたこともあります。」「熱が出たり、体調で気になることがあると電話をいただけています。よく見ていただいていると思います。」「看護師さんが近くにいるため安心感があります。」「急な発熱時や嘔吐してしまった時には、迎えに行くまでしっかり見守っていただき、経過などの様子を詳しく教えていただいています。」というコメントがありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	11	0	0	6
この項目では「はい」の回答が64.7%、「どちらともいえない」、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は35.3%という結果となりました。自由記述では、「今のところありません。」というコメントがありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	16	1	0	0
この項目では「はい」の回答が94.1%、「どちらともいえない」は5.9%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「とても大切にしてくれています。」「こどもの個性を理解して対応してくださっていると思います。」「多くのお子さんがいる中でも、一人ひとりの気持ちをくみ取り、共感しながら前向きに導いてくださっているように感じます。」というコメントがありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	12	1	0	4
この項目では「はい」の回答が70.5%、「どちらともいえない」は5.9%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は23.6%という結果となりました。自由記述では、「思い当たることがないです。」というコメントがありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	14	3	0	0
この項目では「はい」の回答が82.3%、「どちらともいえない」は17.7%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「連絡帳でその日の出来事を把握できています。」というコメントがありました。そのほか、連絡帳だけでなくお迎え時の会話や日常の様子の写真掲示などを通して日々の様子を詳しく知りたい、といった声が寄せられています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	13	2	0	2
この項目では「はい」の回答が76.4%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.8%という結果となりました。自由記述では、「オムツ外しの時期などでの要望を聞いていただけました。」「以前、嫌なことがあったとき、話をしっかり聞いてくださり、事情共有された職員さんが対応してくださって、安心することができました。」「不満はありませんが、体調や都合のことをお願いする際にはきちんに対応してくださっています。」というコメントがありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	2	2	10
この項目では「はい」の回答が17.7%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が11.8%、「無回答・非該当」は58.7%という結果となりました。自由記述では、「特に困っていません。」というコメントがありました。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている		○ 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている		○ 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている		○ 非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している		○ 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している			
評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている		○ 非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している		○ 非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている		○ 非該当
	カテゴリー1の講評		
園の理念である自己肯定感の育成を軸に、職員や保護者への理解の促進に努めています 園の保育理念は「子どもが、精神的・心理的・社会的に自立することを目指し、自己肯定感を培う」を中心に据えています。職員への理解促進のため、新年度の職員会議で理念や園の目標を確認し合い、定期的に振り返りをおこなっています。新入社員にはオリエンテーションで理念や園のマニュアルを共有し、理解を深めています。保護者の理解を図るためには、園見学や入園時に園長が直接説明をおこなうほか、園だよりや保護者会でも理念について説明をしています。保護者や職員が園の理念を理解することで、園の円滑な運営を図っています。 経営層は職員の職務や役割を明確にし、園の理念・方針にもとづく運営を推進しています 経営層は、毎年の年度始めの職員会議で職務権限規程や役割分担表を用いて、自らの役割と職員の職務を伝え、周知・確認・説明をおこなっています。これに加え、就業規則と一緒にファイリングして、職員がいつでも確認できる体制を整備しています。また、園のしおりに掲載している理念や方針に焦点を当て、一年に一度、全職員で読み合わせをおこなうことで、会社の方針を振り返り、これにもとづいて園の運営を推進しています。同時に、保育士としての責任やこどもの命を預かる重要性を繰り返し説明する機会を設け、職員の意識を維持しています。 法人で策定した案件は、職員・利用者に情報を共有して運営の円滑化を図っています 園の運営において、法人本部で策定される重要な案件は、社内連絡アプリを活用して情報の周知をおこなっています。法人本部または社長から園長に園長から職員会議を通じて職員へ周知をおこない、重要な事項は事務室に掲示しています。不在職員への周知は上長や主任から直接伝えるほか、議事録の確認、クラス間での伝達をおこなっています。利用者への周知は、園だより、園内掲示、号外おたより、保護者会、そしてICT連絡システムを活用しています。これにより、重要な決定事項の内容と経緯を効果的に利用者に伝え、円滑な情報共有を図っています。			

	カテゴリー2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー1(2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6／6
	評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
	評点(○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー2(2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5／5
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		
	評点(○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		
	評点(○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
	カテゴリー2の講評		
	運営課題の抽出のため、保護者・職員・地域など多角的に意見やニーズを収集しています 運営課題の抽出を目的として、保護者の意向は行事後のアンケートや玄関のご意見箱から収集し、保護者会や個人面談で意見を把握しています。アンケート結果や要望には園だよりで回答し、透明性を保ちながら対応しています。職員の意向は職員面談やアンケート、日常の会話から把握し、職員会議で意見やアイデアを共有しています。地域の福祉情報は武蔵野市主催の園長会議で収集し、福祉事業全体の動向はメディアや行政からの情報、外部研修、本部との共有を通じて把握しています。事業所の経営状況においても本部と連携した体制を整えています。 中長期計画で4つの主項目を掲げ、保護者・地域のニーズを踏まえた活動を進めています 園は中長期計画の中で、1サービスの質向上、2職員の育成、3園の環境整備、4地域連携の4つの主要項目を設定し、保護者の声や地域の要望を取り入れながら、ニーズやプログラムの検討、スポーツクラブとの連携体制などを検討しています。単年度計画ではこれを踏まえ、具体的な活動やプロジェクトを計画し、年間指導計画も策定しています。予算編成に関しては本部がおこなっており、計画にもとづいた適切な運営管理を実施しています。中長期的な視点から具体的な施策までを一貫して計画し、事業所の目標に向けて効果的な取り組みを進めています。 計画の進捗状況を定期的に確認・見直しし、目標達成に向けた管理体制を構築しています 園が目指していることに向けた計画の推進方法として、面談や職員会議で目標や達成度合いを確認しています。2023年度からは、面談の前に職員アンケートを実施し、職員自身の計画に対する振り返りをおこないながら面談を進めています。進捗状況の確認や見直しは、職員会議で半期や月単位でおこない、年度末には計画書の評価・反省・振り返りをおこない、次の計画書作成に反映させています。これにより、具体的かつ柔軟な対応を図り、計画の適応性を高めながら目標の達成に向けた効果的な取り組みに努めています。		

カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○ 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○ 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○ 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎ あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○ 非該当
◎ あり ○ なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○ 非該当
◎ あり ○ なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○ 非該当

	カテゴリー3の講評
	コンプライアンス遵守と虐待防止に向けて、職員への研修や情報共有を強化しています 全職員に対して法・規範・倫理の理解を深めるため、マミー吉祥寺保育園マニュアルや就業規則を活用し、入社時や職員会議で説明する機会を設けています。また、虐待の防止に向けて、園内研修でガイドラインや具体例に基づいて話し合い、日々の保育を振り返る機会を設けています。虐待の発見や疑いがある場合は虐待防止マニュアルに基づき、武蔵野市こども育成課やこども家庭支援センター、本部への報告をする体制を構築しています。また、申し送り表、連絡ノート、職員会議などで職員への迅速な情報共有を図る体制を整えています。 苦情解決制度を整備し、利用者の意向に組織的かつ迅速に対応する体制を構築しています 園は苦情解決制度の体制を整え、園のしおりへの記載や入園前の説明で説明をしているほか、玄関には苦情相談窓口の連絡先の掲示や意見箱の設置をしています。利用者の意向に組織的かつ速やかに対応する仕組みを整備しており、園長や本部担当、第三者委員と連携した体制を構築しています。また、全職員に状況確認をおこなった上で、園長及び主任が中心となり課題解決に取り組む仕組みを整えています。さらに保護者アンケートの結果や要望には園だよりで回答し、園としての考え方や改善点についても公表し、透明性を保った運営を図っています。 園の活動の透明性を高めるとともに、地域の福祉ニーズに応える取り組みを進めています 園の活動の透明性を図るため、見学対応や第三者評価の結果の開示をおこなっています。ボランティアや実習生の受け入れにはマニュアルを整備し、学校等からの要請に対応しています。また、子育て支援活動にも取り組み、園見学時に保護者から育児の相談事があれば応じており、地域の福祉ニーズに応える取り組みを進めています。また、保育園体験を市報で公開し、今後は地域のニーズを分析し、地域貢献活動を展開する予定です。地域ネットワーク内で共通課題に協働できる体制に向けて、地域交流を通じて関係の構築に努めています。

4 リスクマネジメント サブカテゴリ1(4-1) リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5 / 5		
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評価 標準項目		
● あり ○ なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○ 非該当
サブカテゴリ2(4-2) 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4 / 4		
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評価 標準項目		
● あり ○ なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○ 非該当
カテゴリ4の講評 安全対策や危機管理マニュアルを策定し、リスクの優先順位に応じた対策を講じています 園の運営に関わるリスクマネジメントにおいて、安全対策や危機管理マニュアルの策定をおこない、本部や自治体のガイドラインに加え、地域性を踏まえた独自のマニュアルを作成しています。具体的な対策としては、毎月の避難訓練や水遊び前の救命救急講習、不審者対応訓練、感染症の掲示、園内の消毒や除菌、戸外活動時の置き去り防止などを実施しています。これらの対策はリスクの優先順位に応じて適切に実施して、事業所の安全性を確保しています。また、事業継続計画の策定に向けて、本部や系列園と連携し、危機管理の改善活動を進めています。 ヒヤリハットや事故の報告・分析にもとづき、予防対策と再発防止に取り組んでいます 園のリスクマネジメントにおいて、ヒヤリハットは毎月の乳幼児会議で報告し、予防対策を策定しています。ヒヤリハットは付箋を使用した形式を導入し、職員の安全管理に繋がる意識付けを高める工夫をおこなっており、具体例として昨今の報道にもある置き去り防止に向けて、散歩時に名簿を見ながら4回の点呼を実施する対策を講じています。また、事故や怪我が発生した場合は、保育室の防犯カメラの映像を検証し、原因究明と再発防止に取り組んでいます。事故報告書を作成して、園のリスクマネジメントの体制の改善活動に取り組んでいます。 職員の守秘義務や書類・電子機器の管理強化など、個人情報の管理体制を構築しています 職員は入職時に個人情報における守秘義務について誓約書の提出をおこない、情報管理の徹底を周知しています。書類の廃棄時にはシュレッダーを利用し、情報の整理・管理は鍵付き書庫でおこなっています。パソコン等の電子機器の管理においては、職位ごとに機器を分けしたアクセス権限を設けているほか、特に機密性の高い情報は園長に限定した管理を徹底しています。個人情報の利用目的や肖像権については、園の運営規定に明示して入園の際に保護者に説明しています。個人情報の取り扱いにおいて法令を遵守し、安全かつ適切な管理を徹底しています。		

5			カテゴリー5	
職員と組織の能力向上				
サブカテゴリー1(5-1)				
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる ○ 非該当				
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している ○ 非該当				
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ○ 非該当 ●あり ○なし 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ○ 非該当 ●あり ○なし 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている ○ 非該当				
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる ○ 非該当 ●あり ○なし 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる ○ 非該当 ●あり ○なし 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている ○ 非該当				
サブカテゴリー2(5-2)				
組織力の向上に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている ○ 非該当 ●あり ○なし 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる ○ 非該当				

	カテゴリー5の講評
	多様な採用活動をおこない、適材適所の人員配置とキャリアサポートを図っています 求める人材を確保するため、本部主導で法人ホームページや外部求人サイト、人材紹介会社を活用し、職員の紹介も受け付けています。採用後は、本人の希望や将来性、園の現状を考慮して適材適所の人員配置をおこない、本部との情報連携に取り組んでいます。また、長期的なキャリア形成の展望や人材育成計画について職員に分かりやすく周知するため、職員面談の機会を通じてキャリアサポートを提供しています。人材育成計画の進捗は職員面談で確認し、必要に応じて見直しをおこない、人材の確保から育成までの取り組みを図っています。 自治体やキャリアアップ研修、園内研修など様々な方法で職員の育成に取り組んでいます 園は職員の育成に向けて、自治体やキャリアアップ研修、園内研修などさまざまな方法で研修を実施しています。また、こどもの権利条約の浸透に注力する武蔵野市の方針を踏まえ、園内研修や話し合いの場を設け、こども一人ひとりの人権を尊重した保育をおこなっています。さらに、個々の職員の経験や希望にもとづいて個別の育成計画を策定し、研修に参加する機会を提供しています。指導担当の職員に対しては、指導方針と役割を理解して良い指導ができるよう園長からサポートをおこない、組織全体の育成環境の整備に努めています。 職員の意見や考えを丁寧に聞き取り、職員が主体的に働ける環境づくりに努めています 園は職員の勤務状況や職員の意見を把握し、就労環境の整備に努めています。職員面談や園長及び主任からの日々の声かけ、シフトの希望制度などを通じて職員の就業状況の管理をしています。また、組織力の向上のため、職員会議ではグループワークや話し合いを通じて前向きな発言を促すほか、決まりごとやルールも園全体で決定するなど、全職員が関与する運営に取り組んでいます。また、学んだ研修内容や職員の気づきを共有化する仕組みも整備し、研修報告書の回覧や職員会議での報告など、知識や経験の共有を促進しています。

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
園は前年度からの重要課題として、前回の第三者評価受審時におこなった保護者アンケートから寄せられた怪我に関する意見を受け、怪我をした際の状況説明や対応及び与薬についての改善を目標に掲げました。こどもの命を預かっている意識や、責任の重さを職員がさらに理解することを念頭に計画を策定しました。取り組みとして、事故報告書の書式を見直し、怪我報告書や事故報告書の内容についての指導を実施しました。また、怪我や事故が発生した場合は、保護者に具体的かつ丁寧な説明を心がけ、担任や看護師が説明をおこないました。受診時には園長から直接謝罪し、翌日にはその後の状況について聞き取りを実施するなど、保護者とのコミュニケーションを強化しました。与薬についても、看護師職員と自治体との協議を経て、保護者に分かりやすい書面を作成しました。取り組みの結果、怪我や事故の報告書や説明において職員の意識が向上し、事故の発生が減少しました。保護者への説明も丁寧におこない、信頼関係の構築に至りました。今後は職員からヒヤリハットを積極的に提出してもらい、振り返りと改善を繰り返し、事故の予防を継続的に努めていく方針です。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
事業者が実施した改善活動の目的である「安全管理に関わる対応の改善」は、職員の安全意識向上と責任感の強化に繋がる効果的な取り組みです。事故報告書の書式見直しと指導、保護者への丁寧な説明など、さまざまな施策を通じて、職員が怪我や事故の重大性を再認識し、より慎重な保育の実践に取り組んでいます。また、担任や看護師、園長による説明、事後のヒアリング、関係書面の作成など、多角的なコミュニケーションを図り、保護者との信頼関係の構築に至っています。今後も継続的な改善と積極的な取り組みを通じて、より安全で質の高い保育環境の実現を期待します。	

評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 園は前年度からの重要課題として、前回の第三者評価受審時に浮き彫りになった「職員のこどもへの関わり方に関する課題」に対応するため、人権をテーマにした改善活動を目標に掲げました。こどもたちにも人権があり、対等な一人の人間として関わることを念頭に計画を進めています。具体的な取り組みとして、園長及び主任がこどもの権利条約に関する研修に参加し、職員にも分かりやすい形で園内研修をおこないました。サポートが必要な職員には研修参加を奨励したほか、こどもへの関わり方に不安のある職員には武蔵野市のアドバイザーとの個別面談や研修を実施しました。職員会議では、こどもへの関わり方に関する指導を徹底し、改善が確認できるまで支援を継続しました。取り組みの結果、職員のこどもへの声掛けの質が改善し、保護者からの意見も減少しています。また、職員の感情面へ寄り添い、適切なサポート体制を構築しています。振り返りとして、具体的な事例の共有や、職員の感情に寄り添うアプローチが有効であることが分かりました。今後も個人面談や話し合いを通じて、職員の声を丁寧に受け止め、関わり方や声掛けの向上に取り組んでいく方針です。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 事業者が実施した改善活動の目的である「人権を尊重した保育」は、こどもたちの権利尊重と質の高い保育環境を実現する取り組みです。外部の見識を活かした園内研修の実施、武蔵野市からの支援、継続的な職員指導など、多角的な対応を通じて、こどもたちの権利を尊重し、職員の意識改革と学びの機会を提供しています。とりわけ近年、保育園における不適切保育のニュースが散見され、保護者や外部からの目が厳しくなっています。このような状況下で、園が人権をテーマにした改善活動を実施していることは、社会的な課題に適応し、質の高い保育の提供に繋がっています。今後も継続的な改善と積極的な取り組みを通じて、こどもたちの権利が尊重され、安全で安心できる保育環境の実現を期待します。	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4／4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している			
評点(〇〇〇〇)			
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○ 非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている		○ 非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○ 非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○ 非該当
サブカテゴリー1の講評			
園の情報は、自治体のホームページを中心に利用希望者に向け発信しています 武蔵野市のホームページに保育園の所在地、電話番号、対象年齢、定員、保育時間、延長保育時間などを記載しているほか、東京福祉ナビゲーションの第三者評価を活用して、利用希望者がいつでも情報を得ることができるようにしています。また、武蔵野市に園のしおりを提供したり、市の発行している市報などに園の情報を掲載したりしてもらい、施設を利用する地域の子育て家庭に情報を提供しています。現在、園独自のホームページの開設には至っていないため、今後は園の魅力的な取り組みを発信するホームページの開設と充実に期待します。 園のしおりにさまざまな情報を掲載し、行政にも定期的に情報共有を図っています 園のしおり(園生活のしおり)には、保育理念や保育方針のほか、重要事項の案内、施設・設備の概要、職員数、一日の生活の流れ、主な年間の行事予定などを詳しく掲載しており、利用希望者が入園後のイメージを持った上で安心して入園できるようにしています。また、個人情報保護方針・プライバシーポリシー、職員による園児への虐待防止のための取り組みなどについても詳細に記載し、保育園を安心して利用できる旨を示しています。事業所の情報は、年度末に園長と主任が必要に応じて見直し・更新をして、行政や関係機関へ情報提供しています。 園見学では園で大切にしている園目標にもとづく保育について丁寧に説明しています 園見学の問い合わせは、電話で随時受け付けており、園長、または主任が対応し利用希望者の要望に沿えるように実施しています。見学時間は、利用希望者の意向に沿いつつ利用したいクラスのこどもの様子が見られるように、こどもたちが室内で活動している時間帯を勧めて案内をしています。また、園内の見学、活動の様子などを見てもらいながら、園で大切にしている「こどもの主体性を大切にし、一人ひとりの個性を尊重する保育」に取り組んでいることを伝えています。そのほか、質疑応答の時間や希望があれば育児相談も受けています。			

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
● あり ○ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○ 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
● あり ○ なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○ 非該当
サブカテゴリー2の講評			
入園前に説明会や個別面談をおこない、保護者の意向などを丁寧に確認しています 入園が決定した家庭には、事前に新入園児説明会、入園前面談、入園前健診の案内と提出書類を郵送して入園にあたって必要な情報を提供しています。3月の新入園児説明会では、新入園児の家庭全体に園生活のしおりをもとに重要事項を説明しています。その後、個別面談をおこない、こどもの状態や保護者の就労状況などを確認しています。重要事項説明書、個人情報(画像使用)の取り扱いなどに関しては、保護者の理解や意向を確認し、同意書を交わしています。また、同意が得られなかったものには、職員会議を通じて全職員へ周知しています。 入園前の情報をもとに、個々のペースに合わせた慣れ保育を実施しています 入園直後の慣れ保育を進めるにあたって、入園前の面談記録や児童票をもとにこどもの状況や保護者の就労状況を把握しています。慣れ保育は、自治体が基本とする2週間を目安に進めており、こどもが安心して過ごせているか、水分補給や食事は園でも摂れているかなどのほか、保護者の職場復帰の時期にも配慮して期間を柔軟に変更しています。慣れ保育期間中は、こどもが安心できるものを持参してもらったり、園での食事が始まる際に保護者に食事介助をしてもらったりして、こどもや保護者が安心できるよう工夫しています。 卒園・退園後も、こどもや保護者が安心して新しい環境へ進めるように支援しています こどもが退園や卒園をする際に関係機関から情報提供を求められた場合には、必要に応じて協力する体制を整備しています。退園をするこどもには、手作りのカードや制作帳を渡しています。卒園児には、自治体で作成する記念品とともに、思い出の詰まった個人の制作帳をプレゼントして、卒園をお祝いしています。卒園児や退園時には、「いつでも園に遊びに来てください。」と伝え、継続的な支援にもつなげています。今後は、会場に余裕があれば運動会へ卒園児などを招待したいと考えています。			

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13／13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	☐ 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	☐ 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	☐ 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	☐ 非該当
サブカテゴリー3の講評		
こどもの心身の状況や生活状況を把握し、ニーズに応じた支援を提供しています こどもの心身の状況や生活状況は、児童票、児童健康票、入園前確認票、家庭状況表、新入園児面談表などを通じて把握し、事務所で保管しています。保健に関する事項については、看護師が情報を収集し各書類へ記入をして管理しています。こどもや保護者のニーズ・課題は、入園時の面談のほか、保護者懇談会、個別面談、行事後のアンケート、連絡帳のやりとりや普段の保護者との会話などで定期的に情報を収集し、個別指導計画や発達記録、児童票、保健記録などに記載しています。各記録や計画は月ごとや期ごとに見直しをしています。 こども一人ひとりの姿を把握し、主体性を尊重した計画の作成に努めています 全体的な計画は、園の状況に合わせて園長が検討・立案して整備しています。全体的な計画をもとに、年間指導計画をクラスリーダーが作成しそれにもとづいて月案、週案の作成につなげています。計画作成の際には、保育所保育指針も参考にしながら立案するように伝えています。こども一人ひとりの姿や発達を考慮し、担任間でクラス会議をおこない話し合って作成することを大切に考え各種計画を立案しています。保護者には、クラスだよりに毎月ねらいを記載するほか、年度始めの保護者会でクラス目標、ねらいなどを分かりやすく伝えています。 ICTシステムと申し送り表を活用し、職員間でこまめな情報共有に努めています 指導計画の内容や個人の記録、こどもや保護者の状況の変化は、ICTシステムを通して職員間で共有しています。また、早番で受けた個別の内容は生活管理表に記載し、移動する際には口頭でも引き継ぎをおこなって確実に情報を伝えるよう努めています。全体に周知する必要があるものについては、連絡ノートを活用し、全職員へ伝えています。こどもの日々の状況や保護者からの伝達事項などその日の情報は、15時までに申し送り表に記入しその後印刷し各クラスへ配布して情報の共有を図っています。そのほかこども一人ひとりに対する理解も深めています。		

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5／5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当	
● あり ○ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当	
● あり ○ なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当	
サブカテゴリー5の講評			
個人情報の保護、こどものプライバシーや羞恥心に配慮した保育に努めています こどもや家庭に関する情報の取り扱いにおいては、入園時と必要時に保護者の意向を確認し同意を得ています。保育においてもこどものプライバシーや羞恥心に配慮し、0歳児はおむつ交換を一人ずつおこない他児から見えないようにしています。また、男女関係なく個室のトイレを使用したい場合は、そのこどもの気持ちを尊重した対応を心がけています。着替えの際には、裸にならない着替え方を伝えこどもも意識できるようにしています。また、水あそびやシャワーをする際には、外部から見えないように目隠しを設置して外からの視線にも配慮しています。 こどもの人権を尊重した関わり方や、保護者の価値観への寄り添いを大切にしています 園では、日常の保育の中でこども一人ひとりの気持ちに応じた声かけや、配慮事項を考えた上での関わりをし、一人ひとりの人権を尊重しています。また、職員の気持ちを優先した保育をしない、呼び捨てやあだ名で呼ばない、気持ちを押し付けないことを心がけ、こどもが自分らしく安心した気持ちで過ごせる環境の整備に努めています。こどもや保護者の価値観や生活習慣に配慮し、個人面談や連絡帳のやり取り、日々のコミュニケーションを通じて、各家庭や個人の思想や信条を理解して家庭の考え方や事情にも寄り添っています。 定期的に「こどもの権利条約」について学び、全職員で人権への理解を深めています 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、人権や虐待、育児困難家庭支援に関する研修に参加して理解を深めています。自治体で実施している虐待防止研修には、全職員が必ず1回は参加し不適切な保育につながる行動や言動などについて学び、自身の保育について振り返る機会を設けています。また、武蔵野市の取り組みで「こどもの権利条約」の理解について力を入れており、園内研修を通してこどもの人権やこどもを尊重する保育について全職員で学びを深めています。そのほか、育児困難家庭の支援も専門機関と連携して情報を共有しています。			

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5 / 5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評価点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	☐ 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評価点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	☐ 非該当
サブカテゴリー6の講評		
マニュアルとガイドラインを活用し、基本的な業務について標準化を図っています 園独自で作成した園マニュアルのほか、法人が整備した散歩、アレルギー対応、給食、不審者対応、救急対応などのマニュアルや、武蔵野市より配布されたガイドラインなどを活用し、業務の標準化を図っています。園で独自に整備している園マニュアルは、職員の意見を反映して作成することにより、日々の業務がスムーズにおこなえるようになっています。マニュアルや手順書などは、事務所の書庫で管理しており、職員がいつでも閲覧できるほか、保育に関するマニュアルは各保育室にも配置し、必要なときにすぐ確認ができるようにしています。 保護者や職員からの意見や提案を反映し、サービスの見直しや改善をしています 園では、提供しているサービスについて年度末に園長や主任が点検したのち職員会議で全職員で話し合い、改善を図っています。また、保護者から意見を吸い上げるため、意見箱や行事後のアンケート、運営委員会などを通じて意見や要望を収集し、寄せられた意見を職員会議で話し合い改善などに向けて見直しを図っています。職員からは、改善に向けた意見が多く集まったため、全職員で話し合いの機会を設け、日々の開園準備や掃除の進め方などについてみんなで検討し、一つひとつのやり方を統一した園マニュアルを作成しました。 職員間の情報共有と連携強化を図り、園業務の浸透に取り組んでいます 日々の保育の業務においては、嘔吐処理の手順・消毒方法など保育室や必要な場所に対応フローチャートをわかりやすく掲示し、職員の誰もが適切な手順で業務を遂行し、同じ対応ができるようにしています。また、緊急時に備えて地震の対応、火災発生時の対応、不審者発見・侵入の対応などの手順書を設置して、職員が落ち着いて正確な情報を提供できるようにしています。そのほか、保育やサービスも含め、何かを決めるときは園長、主任だけでなく全員で検討して決定することを大切に、ボトムアップを意識した園運営を心がけています。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4	
サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 36／36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目
● あり ○ なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている ○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している ○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している ○ 非該当
● あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している ○ 非該当
● あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている ○ 非該当
● あり ○ なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している ○ 非該当
評価項目1の講評	
一人ひとりの姿を把握し、こどもの自主性・主体性を尊重した環境づくりに努めています こども一人ひとりの成長を把握するため、入園時に収集した情報に加え、連絡帳でのやり取り、日々の保護者との会話、個別面談、こどもたちの育ちの中で得た情報をもとに、成長に合わせた配慮や援助について発達記録や児童票に記録し、職員会議などで報告・共有しています。こどもたちの姿や個々の気持ちを尊重しつつ、こどもたちが自ら周囲の環境に関わって遊びが展開されるよう、こどもたちの自主性や主体性を育む環境づくりを心がけています。玩具の配置を工夫し、自由に遊びを選べる環境と、安心して生活できる空間づくりに努めています。 異年齢交流を通してこどもたちが互いを認め合い、尊重する心を育んでいます 園では、年4回、幼児クラスにおいて異年齢保育を実施し、主活動や遠足など1日を通して過ごし交流を深めています。また、在籍する外国籍のこどもたちによる外国語での語りかけを通して、こどもたちが日常的に異文化にふれ、日々の保育を通してこどもたちが互いを認め合い、尊重する心を育んでいます。特別な配慮を必要とするこどもには、巡回指導を受け、個別支援のアドバイスを受けながら、ほかのこどもたちとの生活を通してともに成長できるよう、支援しています。職員が個々の発達の違いを理解し、全体で共有して支援ができるようにしています。 小学校との連携と充実した保育で小学校生活に備え、円滑な就学をサポートしています 小学校教育への円滑な接続に向け、就学する小学校へ児童保育要録を提出し、必要に応じて電話などでもこどもの姿を知らせ、こどもの情報を適切に伝達しています。また、小学校からもらったパンフレットの内容をこどもたちと共有し、小学校就学への期待感を高めています。こどもたちには、「自分の気持ちや思いを相手に伝えられること」ができるように、日々の保育の中で伝えています。こどもたちの様子を見ながらお昼寝をなくし、その時間に机上遊びや絵本を楽しんだり、卒園制作に取り組んだりして、落ち着いて過ごす時間を作っています。	

2	評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	☐ 非該当
	評価項目2の講評		
	登園時には、視診などの健康観察や伝達事項の確認をして、状況の把握に努めています 登園時には、連絡帳の内容と併せてこどもの様子を直接保護者に確認し、こどもの顔色や表情なども見て視診をおこなっています。保護者からの伝達事項は、口頭のほか、0～2歳児は紙面の連絡帳、3歳児以上は連絡ノートを活用し、こどもの家庭での様子などを把握しています。こどもの情報を全職員へ周知する必要がある場合には、生活管理表に記載して各自で確認をおこなっています。日中の活動の様子や新たに共有が必要になった個々の連絡事項などについては、事務所に掲示している申し送り表に15時までに記載し、情報の共有を図っています。 こどもの発達、年齢、生活時間に合わせて、休息やお昼寝は柔軟に対応しています 休息やお昼寝は、個々のこどもの発達、年齢、生活時間に合わせて、健康面に配慮しながら対応しています。特に1歳未満のこどもには、必要に応じて午前寝や夕寝の時間を設けるなど一人ひとりの発達に合わせた対応を心がけています。お昼寝は、無理に寝かせることはせず、布団でゴロゴロしながら身体を休めるための時間を作ったり、必要に応じて廊下や園庭を活用して遊んで過ごすようにしています。5歳児は就学を見据え、クラスの状況によってお昼寝をなくす時期を判断し、その後はクラスでの活動を充実させています。 紙面の連絡帳やスケッチブック、日々の会話で保護者とこどもの成長を共有しています 園では、こどもの成長や育児の思い出を振り返る手段として、形として手元に残る紙面の連絡帳を大切に考え、0～2歳児クラスにおいては、紙面の連絡帳を使用して保護者とのやり取りを丁寧におこなっています。3～5歳児については、保育室の前にその日の活動の様子を記したスケッチブックを掲示し、園生活を楽しむこどもの日々の様子や成長を職員とともに喜び合えるよう、保護者にも共有しています。		
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点(〇〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	☐ 非該当
	評価項目3の講評		
	こどもの主体性を育む遊び場を作るため、興味に合わせた玩具と環境を整えています ついたてなどを活用し各保育室にコーナーを作り、子どもが遊びたいものを見つけ、好きな遊びをじっくり楽しめるような環境づくりをしています。絵本、車や指先を使う玩具、パズル、ままごとなど、発達段階に応じた玩具を豊富に提供しています。また、ままごとキッチンやちゃぶ台、トンネルなどを手作りして、あたたかみのある遊びの環境を作っています。コーナーには、子どもが自ら興味のあるもので遊びこめるよう手に取りやすい場所に玩具を設置し、集中して遊べる空間を確保して、子どもが主体的に活動できるよう工夫しています。 乳幼児期における言葉への興味、コミュニケーション能力、表現力を育んでいます 年齢によって、言葉を使って相手に自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、言葉による伝え合いを楽しめるようにしています。乳児の場合には、言葉で表現できたときに褒めたり、繰り返し伝えたりしながら、伝える喜びや受け止めてもらう喜びを感じられるようにしています。幼児クラスでは、「嬉しい言葉」や「悲しい言葉」の意味も伝えています。また、さまざまな表現を楽しめるよう、素材や音、色、形などの違いに気がついたり、感じながら楽しめるように感触遊びを取り入れたりし、必要に応じて個別に分かりやすい声かけをしています。 さまざまな自然とのふれあいを通して、こどもたちの豊かな感性を育んでいます 天気の良い日にはお散歩に出かけ、近隣の自然豊かな公園を活用して草花の観察をしたり、探索活動を楽しんだりしています。公園を利用する際には、目的を持って出かけ、保育園では感じるのが難しい自然や植物の変化を感じられるよう声をかけながら、こどもたちの感性を豊かに育んでいます。興味を持った植物などを調べるができるように図鑑を持参し、こどもたちの興味関心が広がるようにしています。また、カブトムシの飼育で土の入れ替えや餌やりを通して命の尊さを感じ、命を大切に作る心が育まれています。		

4	評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当
	評価項目4の講評		
	日常の保育を通して、こどもたちが主体的に行事に取り組み、興味関心を深めています 園では、日々の保育の中でこどもたちに行事の楽しさを伝え、日常の活動に変化と潤いを持てるようにしています。行事を通して四季や季節の移り変わりを感じ、日本の伝統を知る機会として取り組み、こどもたちの学びや興味関心を高めています。また、こどもたちが主体的に行事に取り組めるように、その過程を大切に考え実施しています。行事に向かってこどもたちが自分の考えを伝えたり、友だちの話を聞いたりして話し合って内容を決める場を設けることで、こどもたちの主体性が育まれるとともに行事への興味や関心が広がっています。 行事を通して、友だちと協力する大切さや、やり遂げる喜び、達成感を味わっています 行事を実施するにあたり、日々の保育の中で行事の楽しさを話し、活動の中からこどもたちが興味を持ったことや得意なことを行事へとつなげています。行事を通して、クラスで一丸となり協力することの大切さを伝え、みんなでやり遂げることの喜びや達成感を味わえるように進めています。運動会では、日々の園生活で身につけた運動機能の成長を保護者の前で楽しく表現することで、自信につながり自己肯定感が育まれています。発表会では、普段過ごしている保育室を使用することで、こどもたちが生活で身につけた歌や踊りなどの表現活動を楽しんでいます。 行事に取り組むこどもの姿を保護者と共有し、こどもの成長を喜び共感しています こどもが意欲的に行事に取り組めるよう、行事は実施までの過程を大切にしています。保護者には、連絡帳やスケッチブックなどを活用して、活動の内容を丁寧に伝え、こどもの取り組んでいる姿を見えやすくしています。行事を実施するにあたって、保護者に準備してもらうものがある場合には、早めに声をかけ、できる限り負担の少なくなるように配慮しています。また、クラスだよりなどを通して行事の見どころを保護者へ伝え、保護者とともにこどもの成長を喜び合い、行事後にはアンケートを実施し、より良い行事の実施につなげています。		
5	評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当
	評価項目5の講評		
	こどもの情報を定期的に共有し、時間帯や場面に合わせた環境づくりをおこなっています こどもたちが一日を通して、それぞれの時間帯や場面で楽しめるよう、ブロックやおままごと、絵本などさまざまな玩具を用意しています。遊びに変化をつけたり、こどもたちが遊びの内容を決められる時間を作るなど、楽しく過ごせるように工夫しています。こどもの生活リズムや心身の状況に配慮しながら、職員が交代する際には引き継ぎをおこない、こどもの情報を共有しています。また、職員会議などでこどもの姿や情報を共有し、全職員が全てのこどもを把握できるように努め、こどもたちがゆったりと安定して過ごせる環境づくりを心がけています。 個々の状況に合わせた環境を整備し、長時間保育でも安心できる空間作りに努めています 保育時間の長くなる中で、こどもの年齢や発達に応じて午前寝や夕寝ができる環境を整えたり、リラックスできる場所を設けて、個々の体調や思いに寄り添った対応をしています。早番の時間帯では、全園児の合同保育後、徐々に年齢別保育に移行し、異年齢との関わりを深めながらこどもたちが楽しめるよう、年齢に応じた玩具を用意したり、こどもたちが自由に活動を選んだりして過ごしています。延長保育の時間では、こどもたちの人数を見ながら、静と動の遊びの環境を分け、保育の環境を工夫しながらお迎えまで安心して過ごせるようにしています。		

6	評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	☐ 非該当
	評価項目6の講評		
	こどもたちの状況に応じ落ち着いて楽しい雰囲気の中で食事ができる環境を整えています 園では、こどもの様子に合わせて席替えをおこない、楽しい雰囲気の中で食べられる環境作りをしています。3歳児以上のこどもたちは、感染症対策を徹底しながら職員も一緒に食事することによって、食への意欲や食べる姿勢を学んでいます。また、室内に食器の並べ方や食事の正しい姿勢を示したイラストをこどもの目の届く場所に掲示し、食事のマナーについてこども自身が気づけるように工夫しています。栄養士や調理員は、感染症に気をつけながら定期的にクラスを回り食事の様子を確認し、こどもたちの喫食状況の把握に努めています。 バラエティ豊かな給食メニューで、こどもたちの食への興味関心を高めています 離乳食のステップアップは、食材チェック表にもとづき、保護者・園長・栄養士・調理員が確認しながら進め、家庭で試行してから段階をあげたり食材を提供したりしています。給食の献立は、法人が作成し、1か月を通してバラエティ豊かなメニューとなっており、定期的に新メニューも取り入れ、こどもたちの食への興味関心を高める工夫をしています。また、5歳児は卒園前にリクエスト給食を取り入れ、こどもたちのお気に入りの献立を提供する機会を設けています。アレルギー対応食は、生活管理指導表に基づき安全面に配慮して提供しています。 こどもの年齢に応じて、食材の栽培や調理活動など、食育活動を展開しています 園では、こどもたちの食への関心を深めるため、年齢に応じて食材の栽培や調理活動などに取り組んでいます。野菜の栽培では、コロナ禍の影響が落ち着いてからは苗植え、栽培、収穫をし、その後給食で食べるなどして食育につながる活動に取り組んでいます。また、こどもたちは野菜を触ったり皮をむいたりするほか、幼児クラスでは、ピザづくりなどの調理活動にも積極的に取り組んでいます。年に4回、旬の食材に関するクイズも実施し、栄養士と職員が連携を取りながら、こどもたちが楽しんで学びを深められるようにしています。		
7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	☐ 非該当
	評価項目7の講評		
	看護師による保健指導を通して、こどもたちの健康的な身体づくりに取り組んでいます 園では看護師が中心となり、年3回、手洗い、うがい、咳エチケット、鼻のかみ方などの保健指導をクラスごとにおこなっています。感染症が流行する時期には、分かりやすく病気の症状や気をつけるべきことを説明することで、こどもたちの健康に関する興味関心が高まっています。各手洗い場には手の洗い方を掲示し、こどもが自分で確認しながら正しい手洗いができるようにしています。また、こどもの健康維持のため、日常的に戸外で身体を動かす時間を多く取り入れ、こどもの体力の向上と病気にかかりにくい身体づくりに取り組んでいます。 付箋によるヒヤリハット報告を導入し、こどもたちの安全への意識が高まっています 園では、書式によるヒヤリハットの報告が思わしくなかったことを受け、現在は付箋を活用した報告形式にしています。気づいたことを事務所内に付箋に記して貼ることで、提出率が上がり職員のこどもの安全に対する意識も高まっています。また、毎月の乳幼児会議で各クラスのヒヤリハットや事故などの事例を報告し、検証と再発防止に向けた話し合いの時間を設けています。今後は、主任が中心となり毎月集計をおこない全職員へ共有する予定です。医療的なケアが必要なこどもは現在在籍していませんが、自治体や関係機関と連携する体制を整えています。 定期的に健康にまつわる情報を共有し、家庭と連携してこどもの健康維持に努めています 園では、登園時の受け入れの際の検温と保護者へのこどもの健康状態の口頭確認などで、日々のこどもの健康状態の把握に努めています。また、入園時の面談で乳幼児突然死症候群(SIDS)について口頭で説明するだけでなく、毎年、年度始めにSIDSに対する園での取り組みについて、おたよりを配布して保護者に仰向け寝の理解を求めるとともに注意喚起をしています。毎月のほけんだよりには、その月の保健に関する情報やこどもの怪我や事故を防ぐためのアドバイスなどを掲載し、こどもの健康や安全に対する保護者の意識を高めています。		

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当
	評価項目8の講評 家庭の状況や事情に合わせた柔軟な対応や保護者同士の関わりを大切にしています 入園時の個別面談においては、こどもの状態や家庭の状況を把握し、保護者の要望の確認をおこなっています。入園後は、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができるよう連絡帳のやり取りや日々の送迎時のコミュニケーションを大切に情報収集をし、把握した情報を申し送り表などを活用して全職員で共有をしています。また、保護者懇談会をおこない保護者同士が意見交換できる時間を設けて、積極的に関係づくりができるような環境を整え、保護者同士の交流を深める場づくりに努めています。 連絡帳やスケッチブックなどを通して、保護者との信頼関係を深めています 送迎時にはこどもの様子を保護者に丁寧に伝えるだけでなく、一人ひとりのエピソードを必ず添えるようにしています。また、家庭での姿を聞いたり、子育ての楽しさや成長の喜びを共感したり、日々保護者に寄り添った対応をしています。0～2歳児までは、連絡帳を活用し、日々のやり取りを通じて保護者と職員の信頼関係を深めています。3歳児以上のクラスでは、スケッチブックを活用しこどもの姿や活動を知らせ共有を図っているほか、月に一度クラスだよりを発行し写真などでこどもの様子を詳しく知らせ共有しています。 保護者がこどもと一緒に保育活動を楽しみ、喜びや成長を共有できるようにしています 園では、年度の始めと終わりに保護者会を実施し、その年齢のこどもの成長や発達について、保護者へ周知するとともにクラスの目標を伝え保護者が共通の認識を持てるように取り組んでいます。11月には、全園児を対象として個人面談を希望制でおこない、保護者の思いに寄り添いながら実施しています。また、2023年の秋より園でのこどもの姿を保護者に知ってもらいたいという思いから、全園児を対象として、保育参観、または保育参加を希望制でおこなっています。そのほか園行事は、保護者が保育の活動に参加しやすい日程を整えています。		
9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当
	評価項目9の講評 地域資源を活用した園外活動を通して、多様な体験と交流の機会を提供しています 園では、天気の良い日には近隣の公園を利用し、季節の草花を鑑賞したり、虫探しなどの探索活動を楽しんだりして、多様な活動や体験ができるようにしています。散歩に行く際に通る消防署には、タイミングが合えば消防車の乗車体験や消防服の試着体験をさせてもらい日ごろから連携を深めています。また、警察署にも協力を仰ぎ毎年交通安全指導をおこない、こどもたちの安全に関する意識を高め学びを深めています。近隣の商店街では、散歩時に日常的に挨拶を交わしたり、声をかけたりしながらお店で働く方との交流を楽しんでいます。 今後は地域との連携をさらに強化し、こどもたちの視野を広げる活動の充実に期待します 園では、こどもたちが地域の図書館へ出かけ絵本を借りたり、遠足で美術館などを利用したりして、地域の資源を活用しさまざまな体験をしていましたが、現在はコロナ禍のため中止しています。また、令和6年度には卒園児を送り出す予定があり、小学校見学を通して交流を深め就学に向けた準備を進めていきたいと考えています。今後は、地域の保育園や姉妹園との交流、地域の施設の利用の再開、新たに体操教室と連携することを検討しており、地域資源を活用した取り組みによりこどもたちの多様な経験につながることに期待します。		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	こどもの「やってみたい」を実現するため、主体性を大切にした保育をおこなっています	
内容①	こどもの年齢や発達、成長に合わせて保育環境を柔軟に変更して、こどもが主体的に園生活を送れるようにしています。つかまり立ちができるトンネルや手押し車、数字や絵が書かれたフラッシュカードなどを手作りして、こどもの興味関心のあるものを適宜取り入れ、こどもの「やってみたい」という思いを大切にした保育に努めています。行事を進めるにあたっては、幼児クラスを中心にこどもから意見を募り内容を決めるなど、こどもの自主性を尊重して取り組むようにしています。自分たちで決めることで、自信につながり自己肯定感が育まれています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	職員と栄養士が連携し、こどもたちの興味関心に合わせた食育活動を推進しています	
内容②	こどもたちの日々の会話や活動の中から発信された食育につながる声を職員が丁寧に拾い上げ、栄養士と相談しながら食育活動につなげています。具体的には、4歳児クラスのこどもたちから「メロンを育てたい」という声があがり、実際に栽培・収穫したほか、3歳児クラスでは、遊びの中から「ハンバーガー作りがしたい」という声を受け、クッキング活動に取り入れました。また、夏野菜の栽培は、各クラスで話し合ってこどもの意見を取り入れながら何を育てるかを決め、こどもたちの意欲の向上とともに食材への興味関心が深まっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員の意見を尊重し良好な人間関係の構築に努め、組織力を活かした運営に努めています	
内容③	園は組織力の向上を図るため、職員同士のコミュニケーションを大切にし、良好な人間関係の構築に注力しています。職員会議では意見を出し合い、全員の意見を反映した方針を決定しています。また、状況に応じてアイスブレイクや趣味の話を取り入れ、職員の良い点を伝え合う時間を設けています。これにより、職員間のリラックスした雰囲気醸成し、良好な関係性を保っています。職員会議は建設的な話し合いの場となるように運営管理者がサポートし、現状把握や園や議題を共有し、目標達成や課題解決に向けたチーム活動を進めています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	全職員でこどもの情報を共有し、個々の成長や個性に配慮して、こども一人ひとりの気持ちや思いを汲み取り、最善の関わりを心がけています
	内容	園では、こども一人ひとりの成長や発達、配慮事項などについて、クラス会議や乳児会議、幼児会議、職員会議などさまざまな機会の中でこまめに情報を共有し、全職員で把握することに努めています。職員は、把握した情報をもとに、日々の保育の中でこどもの気持ちや思いを汲み取るとともに、こどもの行動の裏に隠された思いを想像し、そのこどもにとって最善の関わりができるように努めています。職員が一人ひとりのこどもの発達や個性を理解して関わりを工夫することで、こどもがのびのびと安心して園生活を過ごせる環境が整っています。
2	タイトル	「マミー吉祥寺保育園のマニュアル」を職員全員で共有し、定期的に更新することで、働きやすい環境づくりに取り組んでいます
	内容	園は職員全員が働きやすい環境を整えるために「マミー吉祥寺保育園のマニュアル」を作成し、定期的な更新をおこなっています。このマニュアルは各職員に配布し、振り返りや必要な際に確認できるような仕組みを整えています。年度始めの職員会議ではマニュアルの変更点を確認し、読み合わせをおこなっています。職員同士の話し合いや職員の意見を大切にし、その情報から必要に応じてマニュアルの改善に活かしています。マニュアルは園内の適切な場所にも設置し、全職員が統一した対応ができるように工夫しています。
3	タイトル	園の実情に沿ったマニュアルの策定、ヒヤリハット体制の促進、専門家の協力による訓練など、リスクマネジメント体制の強化に努めています
	内容	園はリスクマネジメント体制として、法人のマニュアルに加え、園の状況に沿ったマニュアルを策定しています。各クラスには緊急時対応のマニュアルを掲示し、園内各所には必要なマニュアルを迅速に確認できるように設置しています。ヒヤリハットの提出数向上のため、付箋を活用した方法を導入し、主任が集計して安全管理の体制を継続的に改善しています。園の各訓練は消防や警察が立ち合い、専門家の知見を活かした体制を強化しています。こども向けの交通安全指導も毎年実施し、その取り組みが認められ警察から感謝状の受領に繋がっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者への情報提供をより充実させるため、ドキュメンテーションの導入を検討し、保護者との信頼関係がさらに深まることに期待します
	内容	園では、0歳児から2歳児までは個別の連絡帳で、3歳児以上のクラスではスケッチブックを活用して日々の保育の様子を伝えています。誕生会やこどもたちでおこなう行事などは、写真を掲載したドキュメンテーションを定期的に掲示して、こどもの成長や育ちを丁寧に知らせています。現在、活動の様子だけでなく保育のねらいや計画についてより分かりやすい形で保護者へ共有していくことを検討しており、今後はそうした取り組みからこどもの成長とともに喜び、共感しながら保護者との信頼関係がより深まることに期待します。
2	タイトル	第三者評価の受審結果の公表などによる運営の透明性を図るほか、公式ホームページの新設を軸に情報発信の充実を図る計画を準備しています
	内容	園は透明性を重視し、活動内容を開示する一環として、見学対応や東京都第三者評価の受審と結果の開示などを実施しています。今後は更なる周知体制の構築に力を入れ、公式ホームページの新設を計画しています。これにより、園のさまざまな活動や情報を広く発信し、地域との連携強化を図ります。地域貢献活動として園庭開放などの機会を提供しており、新たに公式ホームページを活用することで、情報の周知を一層進める予定です。公式ホームページを導入し、保育園の取り組みをより多くの方々に知ってもらい、地域に根付いた存在となることを期待します。
3	タイトル	園は地域との連携を推進し、こどもの社会性を育むため、消防・警察署員や商店街、小中学校、姉妹園との交流機会の創出を計画しています
	内容	園は開園後5年目を迎え、地域との交流を強化するために関係構築に努めています。今後は地域交流を一層深め、地域の方々とつながりを強化していく計画です。具体的には、勤労感謝の日に地域の消防・警察署員の方々に感謝の気持ちを表す機会を設けるなど、日常的な交流を計画します。また、商店街の方々とも連携を強化し、買い物体験などを通じて地域との結びつきを深めます。さらに、地域の小中学校との連携や、姉妹園との交流機会も検討しています。様々な人との交流からこどもの社会性を育み、地域と連携した園の運営を期待します。